

# 社長就任のご挨拶に代えて

株式会社 関プレス



本社には単発プレス加工機が並ぶ。

## プレス加工のデパート

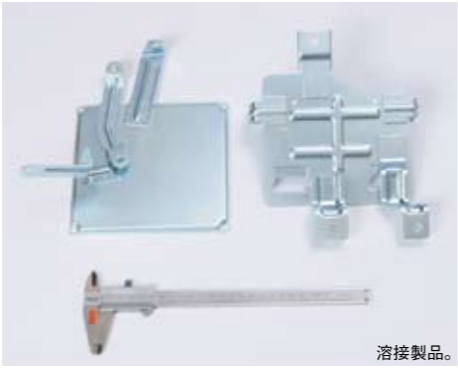
自動車部品を中心に各種金型設計製作・試作を含めた単発加工から量産加工まで、幅広く手がける関プレス。茨城県日立市に本社工場、同県内に第二工場、金型事業所、そして東京営業所、ベトナムにハノイ事務所を構えている。

日立製作所の主力工場として着実に実績を積み上げ、困った時の関プレスと言われるほどの、技術要求の高い製品の対応には定評がある。

関正克は2006年9月1日をもって代表取締役社長に就任した。「この『エミダスマガジン』で社長になりましたことを宣言し、挨拶に代えさせていただきます。就任状は送りません(笑)」



プロジェクション溶接。



溶接製品。

た時期を過ぎ、これまでに培った人脈を製造業界全体に活かすことにしたのだ。こうして初代会長として4年間その責務を果たし現在は、直前会長として会を見守る立場となっている。

## 可変と不変

「自分が変わって、周りが変わったから会社も変わった」と関は言う。さまざまな行動を自分が主体となって行なっていくうちに、い

また、抜きシエーピング工法のように特異な技術の開発を担う人材を社内を持ち、技術力の向上や工法の開発にも励んでいる。跡取りという運命

## 跡取りという運命

関は、祖父の代から続くプレス工場の三代目として生を受けたが、大学生になっても、跡を継ぐ気にはならなかった。そのため、卒業すると大手金属会社に就職した。つの間にか「社長の息子」というしがらみから脱皮していたのだ。それは、経営者として社員に認められた証でもあった。

## あらゆる可能性

今後のビジョンももちろん明確である。2009年までに500の三次元トランスファー、500の順送りプレスを導入し、設備の大規模化を目指していく予定である。設備を大きくすることで、今より大きいものでも対応できるようにするためだ。設備投資だけではない。来年の8月までにISO14001を取得し、作業環境も整備していく。

人づくりも新たな動きを見せる。海外研修事業として、海外から優秀な人材を日本に受け入れる窓口になりたいと関は考えている。社の東南アジアの拠点をベトナムに絞り、その先鋒として、ハノイに事務所をつくった。思い立ったら即行動である。「いばらきものづくり未来研究会」に継ぐ研究会を、やる気のあ

ところが、2年ほど経ったある日、社長である父が体調を崩してしまった。「ここではじめて、俺が継がないといけないんだという会社に対する責任感が生まれた」——自分がやるしかないという運命を悟ったのだ。

入社当初、社員は関を「おぼっちゃん」として扱った。社長の息子なんだから跡を継ぐのは当たり前という反応である。社員にナメられているのは明らかだった。彼らに真の経営者として認められるには、なにかを変えなければならなかった。

くしくもその頃、バブル崩壊のあおりを受けて、関プレスの売り上げも全盛期の半分以下に落ち込んでいた。「なにかを変えなければ、会社を存続させることはできない」強くそう感じていた。このように二つの「なにかを変えなければ」という思いが重なって、関プレスの経営革新がはじまった。

## 営業力と人づくりの変革

まず着手したのは、営業方法の変革だった。当時の関プレスは、この町工場もそうであったように、職人気質を盾に仕事をしていた。



300トン三次元トランスファープレス。

「よいモノであれば、黙っていても売れる」という考え方である。しかし関は、そのやり方では引き合いが減る一方であることをいち早く察知した。そこで、社員の考え方を一掃すべく、営業専門の部隊を編成した。自身も積極的に営業活動を行い、「フェースTOフェース」の営業で次々と顧客の信頼を手に入れた。

営業先を日本全国へと広げていくと考えた矢先、NCネットワークの内原康雄と出会うことになる。NCネットワークを利用することを通じて、インターネットの無限の可能性を知った関は、



社長に就任した関正克氏。

「よいモノであれば、黙っていても売れる」という考え方である。しかし関は、そのやり方では引き合いが減る一方であることをいち早く察知した。そこで、社員の考え方を一掃すべく、営業専門の部隊を編成した。自身も積極的に営業活動を行い、「フェースTOフェース」の営業で次々と顧客の信頼を手に入れた。

「よいモノであれば、黙っていても売れる」という考え方である。しかし関は、そのやり方では引き合いが減る一方であることをいち早く察知した。そこで、社員の考え方を一掃すべく、営業専門の部隊を編成した。自身も積極的に営業活動を行い、「フェースTOフェース」の営業で次々と顧客の信頼を手に入れた。

**Company Profile**  
**株式会社 関プレス**  
 所在地: 茨城県日立市千石町 4-3-20  
 TEL: 0294-36-0300 FAX: 0294-34-5947  
 担当者: 代表取締役社長 関 正克  
 事業内容: プレス加工・溶接加工・部品組立加工・各種金型設計製作  
 エミダス会社・工場詳細情報:  
<http://www.nc-net.or.jp/emidas/gaiyou.php?39115>  
 ※「エミダス工場検索」のキーワード検索「関プレス」で検索できます。